

# ゆうあい通信

2017年10月(第6号)



## 【理念】

人の心を大切にし、  
皆様に安らぎと感動を提供することが、  
私たちの使命です。

## 【基本方針】

- ・利用者の尊厳を守ります。
- ・安全を最優先します。
- ・質の高い介護サービスを提供します。
- ・地域社会に貢献します。

## 接遇のレベル・アップを目指して・・・



接遇やマナーと言った言葉は、飲食業やホテル等のサービス業で知られている言葉でしたが、最近は介護現場でも取り組まれる事が多くなりました。接遇には、人と接する、もてなすと言う意味合いが含まれており、マナーは自分以外の誰かと共通の空間を過ごす時に必要になる「振る舞い」の事を意味します。つまり、お互いが心地よく過ごす為の、「思いやりの気持ち」、「行動」と言えます。入居者一人一人の心に寄り添って、「求めているものを提供する。」という気持ちが大切だと思います。

当施設では7月より**接遇モデル**を始めました。接遇は、言葉、態度、身だしなみと言う3つの要素が重要であり、接遇モデルに選ばれた職員は1日タスキ(今は腕章)をつけ、皆のお手本になるように言葉、態度、身だしなみ等責任を持って行動します。タスキを付ける事により、責任感が生まれ、入居者へのサービスの向上にもつながると思います。接遇とは何か、相手を思いやる気持ちとは何か、という事を再認識し、「ここに来て良かった。いつまでも暮らして行きたい。」と思われる施設、笑顔が絶えない施設を目指して今後も全力で邁進していきます。



## 名古屋市監査

9月13・14日に、定例監査と実地指導がありました。法令や通知等との照らし合わせや介護サービスの処遇など、適正な事業運営を実施しているか調査していただきました。

入居者の安全で安楽な暮らしを担保する為には、様々なルールや決め事が必要です。このルールや決め事は、法令だけでなく施設で取り決めた処遇に関するルール、個別ケアに関する事など多岐にわたります。

今回の定例監査・実地指導では、様々なルールを遵守していることを確認していただき、処遇や接遇についても良い評価をいただきました。また、一部の指摘事項については、すでに改善し、その内容を名古屋市に報告しております。名古屋市内の多くの施設に訪問している名古屋市職員の方に、日頃の取組を評価していただいたことは、施設にとって大きな自信につながりました。



## 身体機能の維持・向上のために

当施設では毎日「リハビリ体操」を行っております。お昼ご飯の後にみなさんに集まっていただき、20分程音楽に合わせて腕や足など動かし、時には頭も使いながら職員やボランティアさんと一緒に行っています。

日々車椅子上で体を動かす機会があまりない、という意見もあり、1年ほど前から毎日の取り組みとして始めました。

入居者からは「体操早くやりたい」「毎日の楽しみ」と言っています。また、一人では立ち上がる事が難しかった入居者が、体操を続けることで、ほぼ介助なしでも立ち上がる事が出来る様になったケースもあります。

入居者の喜びは、私たち職員の喜び、また介護職としてのやりがいでもあります。身体機能の維持・向上と共に、入居者の喜び・楽しさが増すように、今後も続けていきたいと思っております。



## 肺炎球菌ワクチンについて

肺炎は日本人の死因第3位を占め、亡くなる方の約95%が65歳以上の方です。

65歳以上になると体の免疫力が低下し、日頃、元気で健康的な毎日を送っている方でも、ちょっとしたことがきっかけで肺炎を起こしやすくなり、急激に症状が進むこともあります。

肺炎の原因となる菌は細菌やウイルスなど様々ですが、高齢者の肺炎の原因で最も多く、重症化しやすいのが肺炎球菌です。

予防のためには規則正しい生活を送り免疫力を高めること、体内に菌が入り込まないように手洗い、うがい、マスクを着用することも大切ですが、あらかじめ肺炎球菌に対する免疫をつくるためワクチン接種を行う事も効果的な予防法のひとつです。

平成26年10月から「成人用肺炎球菌ワクチン」が定期接種化され、各自治体ごとに助成制度ができ、名古屋市では4000円の自己負担で接種することができます。

当施設でも肺炎球菌ワクチンの予防接種を推奨し、多くの入居者が実施しています。



## 衣替え・インフルエンザ予防接種について

(衣替え)

冬に備えて衣替えを実施いたします。その際、不足分があった場合は相談員から連絡させていただきますので、速やかにお持ち頂くよう、ご協力お願い致します。

(インフルエンザ予防接種)

インフルエンザの季節が近づいてきました。高齢者のインフルエンザは重症化することがあるため注意が必要です。今年も11月にインフルエンザ予防接種を行う予定です。また、少しでも体調不良のある方は面会を控えて頂くよう、ご理解・ご協力お願いいたします。



## 当施設利用希望の方へ

特別養護老人ホームは、名古屋市の統一基準に従って、入所の優先順位を決定しています。

具体的には、入所を希望される方の介護度・介護状況等に応じて、入所の必要度を点数化し、点数の高い方から順に、ご入所頂ける制度となっています。(相談と申し込み方法)

ゆうあいの里大同では、いつでもご相談を受け付ける体制をとっておりますので、お気軽にご連絡ください。

申込する場合には、申込用紙のほか介護保険証のコピーも必要となります。

入所の申込用紙はゆうあいの里大同のホームページからもダウンロードできますので、ご利用ください。

## 歯科医師の往診について

入居者にとって食事は、毎日の楽しみであると共に、健康維持・元気の源です。食事を美味しく食べて頂く為には口腔内の状態が良好に保たれている必要があります。特に高齢者では、義歯が合わなかったり、歯茎の腫れ痛みがあると十分な量の食事が摂取できなくなる為、毎日の食事摂取状況の観察や、食後の口腔ケア、義歯の観察が重要です。

当施設でも、入居者一人一人の食事摂取状況や摂取量を観察し、毎食後の口腔ケア時に義歯や口腔内に不具合がないかを観察しています。その中で治療が必要と思われる場合は、ご家族へ報告し歯科往診を受けて頂くかどうかを相談しています。

歯科往診は、毎週金曜日に南区の「ちどり歯科」から歯科医師が施設へ出向き、義歯の調整や作製、抜歯など施設内で可能な治療を行っています。

今後も入居者が美味しく食事をし健康を保てるように、口腔ケアや口腔内の観察を続けていきます。



## (7～9月の)行事風景

今年の夏も季節にあった様々なイベントが盛りだくさん行われました。夏を満喫し、楽しんで頂きました。

7月

七夕 短冊づくり  
柴田小学校運動会  
港祭り花火鑑賞



想いを込めた短冊

8月

施設での花火  
スイカ割り



花火にウツリ

9月

腹話術 手品イベント  
歌謡ショーイベント  
秋の遠足



懐メロを満喫

10月1日ゆうあい祭を開催しました。多数のご家族様参加もあり、楽しく、盛大に執り行うことができました。スナップ写真で雰囲気をご紹介します。

\*焼きそばなど多くの出店を開きました。利用者の皆様に美味しく召し上がって頂きました。



\*利用者さん参加による大声大会やビンゴゲームを行いました。



\*職員は和太鼓や踊りでも頑張りました。



## 映画鑑賞について

施設では日々、入居者と一緒にリハビリ体操や季節イベントなど余暇活動を行っています。

9月からは、定期的に大型スクリーンとプロジェクターを使用した映画鑑賞会を始めました。

先日は「男はつらいよ」を上映したところ、入居者からの反響も良く、「この映画は昔よく観ていたよ。懐かしいな。」「私はこの俳優さんが好きでした。」などの感想を頂き、予想以上に盛り上がっていました。

若い職員は昔の映画や俳優を知らず、入居者から教えて頂くことも多く、大変勉強になります。

今後も入居者の皆様に楽しんで頂けるよう、余暇活動を充実していきたいと考えています。



## 10～12月の行事等のご案内

いろいろなイベントを開催します。

- 10月 秋の遠足  
葵幼稚園お神輿  
名古屋市老人ホーム運動会  
焼き秋刀魚
- 11月 大同大学吹奏楽コンサート  
焼きいも
- 12月 幼稚園発表会  
ゆず湯、南瓜・柚子料理  
クリスマスイベント  
餅つき大会など



写真は、昨年度の風景です。

☆施設周辺の散策や喫茶店等へ外出します。秋の空気を感じて頂きます。

☆幼稚園児や学生との交流で元気をもらいます。

☆職員がサンタに変身！ケーキを食べながら、冬のイベントを満喫します。



## 名古屋市の「中学生の学習支援事業」への参加

名古屋市は「中学生の学習支援事業」を開催し、中学生の高校進学や居場所支援、親の養育支援などを総合的に行っています。平成29年度からは、高齢者施設などでも開催することになりました。

当施設も、会議室を開放しこの事業に参加します。毎週月曜日と木曜日(午後6時～9時)に、5～12名程度の中学生が当施設に来て、大学生による学習指導が行われます。

中学生たちにも、高齢者施設を知っていただく機会です。「みんなで支えよう！名古屋の子ども」のキャッチフレーズをもとに、当施設もこの事業を支援していきます。



## ボランティア

洋裁のボランティアとして石黒さんに来ていただいています。

ご自身が10歳頃にはワンピースを自分で作られていたほどの腕前です。月に1度来所され、エプロンの修繕などをさせていただきます。また、入居者の個々の体調を考慮した小物類についても親身に考えてくださり、アイデアを出して作ってくださっています。



## 毎日訓練

私たち職員は、就業時間中は施設内携帯電話を持ち仕事をしております。入居者からのナースコールはこの携帯電話に転送され、即座に対応できる仕組みになっております。

このシステムでもう一つ重要なことがあります。“緊急時の対応”です。入居者が急変した場合、携帯電話より全館放送を発信し、職員全員の支援を求めることができます。

「日々放送が的確にできるか？」「職員が緊急時に迅速に対応できるか？」等を確認・習熟するため、7月より朝の全館放送を開始しました。

7～9月間でも緊急コールが必要な場合があり、職員は円滑に全館放送をし、他の職員も迅速に駆けつけ、大過なく対応ができました。この取り組みにより、入居者の安全が保たれ、かつ、日常生活の向上に役立つ事が出来る事を目指し、これからも職員一同励んでいきたいと思っております。

## 編集後記

毎日のように聞こえていた蝉の声が聞こえなくなり、暑さも和らいで気温も涼しくなりました。夏が過ぎ、秋がやってきたのだなと実感します。早いもので、今年度も半年が過ぎました。入居者やご家族の皆様にご満足していただける施設となれるよう、日々様々な催しや業務改善の取り組みを行っております。その中から特に重要なもの、印象深いものをご紹介させていただきました。この「ゆうあい通信」が、ゆうあいの里大同を知ることができる重要な季刊誌となり、読んでくださった方に少しでも楽しんでいただけるようなものとなれるよう、これからも努めていきたいと思っております。

ゆうあい通信 2017年10月(第6号)

編集・発行 社会福祉法人 大同福祉会 特別養護老人ホームゆうあいの里大同

〒457-8512 名古屋市南区白水町20番地 TEL052-612-3030(代表) FAX052-612-3076